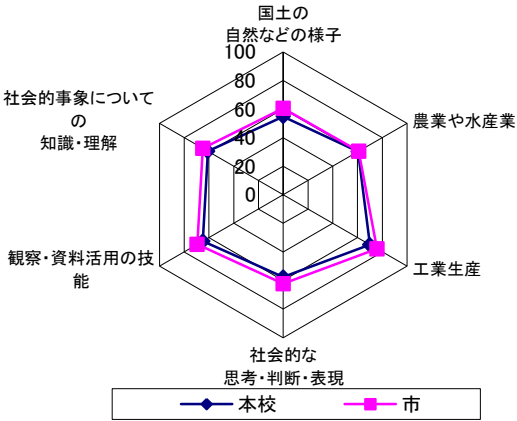


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	54.7	60.4
	農業や水産業	60.5	61.0
	工業生産	69.9	75.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	57.6	62.2
	観察・資料活用 of 技能	64.9	69.4
	社会的事象についての知識・理解	60.9	65.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	・平均正答率は、54.7%と市の平均より低い。特に、「世界の主な海洋とその位置」の問題と「日本の主な地形」の問題において正答率が低い。	・日本のまわりの国々の名称と位置、大陸・海洋の名称と位置、日本の主な地形について地図帳や地球儀を確実に用いることで、国土の様子やまわりの国々について理解を深められるようにする。
農業や水産業	・平均正答率は、60.5%と市の平均とほぼ同じである。「日本の米の消費量を増やす取り組み」や「栽培漁業」の問題において特に低い。	・農業や水産業に従事する人々の工夫や苦勞にもう一度着目させ、資料集やデジタルコンテンツを活用し、復習を図っていく。また、総合的な学習の時間で体験的に行ったお米づくりの学習も想起させ、理解を深めていくようにする。
工業生産	・平均正答率は、69.9%と市の平均より低い。「日本の輸入品の変化とその背景」の問題においては、正答率は低いが、「自動車づくりにおいて人や環境に配慮すること」の問題では、正答率が高い。	・今後も興味・関心の高い自動車づくりをきっかけとして、輸入品の移り変わりにも着目させていく。資料集やデジタルコンテンツなど、多くの資料を活用することで理解を深めていくようにする。